

平成21年4月実施に向け

宮古地区広域行政組合

リサイクル施設を整備

「混ぜればゴミ、分ければ資源」



2008年



ごあいさつ

山田町議会議長 昆 暉雄

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さんは、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。昨年中、皆さんからいただきました議会への温かいご理解と絶大なるご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

わが町の財政は、自主財源が乏しい上に、依存財源として大きく期待するところの国からの地方交付税や補助金などが年々減額され、一方で、かつて経験したことのない加速の一途をたどる少子・高齢化対策などの社会福祉関連の負担はかさみ、年を追うごとに厳しさが増すなかで、町当局は、これの打開と健全な財政運営を目指し、種々、行財政の改革に取り組んでおりますことは、皆さんご承知のことと存じます。

本年は、第8次総合発展計画が前期5年の中間年を迎え、本格的な住民協働の推進など、実施計画に基づく事業が展開されることとなります。このような現状のなか、昨年12月24日に閣議決定された、国の「2008年度一般会計予算案」では、本年度まで三位一体の改革のもとで減らされ続けてきた地方交付税の3年ぶりの増額が盛り込まれました。中身的には、地方の支援と活性化を狙いとした地方再生対策費として400億円の特別枠を設け、財政力の弱い自治体に重点配分し、都市と地方の財政力格差の是正を図るとしておりますが、現段階では不透明と言わざるを得ません。特別枠を設けるなど増額については一定の評価はいたしますが、基本的姿勢として、引き続き国に対し、三位一体改革以前にも匹敵するような地方交付税の復元に加えて、包括的で安定的な地方間財政力の格差是正の仕組みを再構築していただくよう強く求めてまいり所存であります。

議会では、皆さんご承知のとおり、昨年の議員改選時から定数を2人減らし、18人での新しい議会構成のもとで運営をまいりました。

新年を迎え、あらためて本町の現実を直視し、町執行部とともに知恵を出し合い、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、町民福祉の向上を図るべく、その使命を果たす所存であります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますとともに、今年こそ、町民の皆さんと山田町にとって、明るく希望の持てる年となることを祈念し、議会を代表してのあいさつと致します。